



山岸はる美 議員

問 町在住者向けの住宅整備は

答 子育て世代住宅を建設

議員 町内在住者向けの住宅整備の考えは。町管理の住宅は、公営住宅法による「町営住宅」、町内小中学校に勤務する教職員向けの「教員住宅」、教員住宅の用途廃止による「町有住宅」、移住定住者向けの「定住促進住宅」の4種類あり、103戸保有していますが、ほぼ満室状態です。一方で、民間経営の貸家などでは空室が散見されている状況から、必ずしも住宅が不足しているとは思っていませんが、若い世代が希望する「安く」「きれいで」「快適」という条件が整った住宅の必要性を感じています。このため、28年度には定住促進住宅のほか、「子育て世代定住促進住宅」の整備、民間アパートの家賃の一部を助成する「若者定住推進家賃助成事業」などに取り組みます。

議員 子育て支援策の拡充の考えは。町管理の産婦人科が無いため、妊産婦が隣接市に通院する経済的負担を軽減する助成事業です。現時点で27人に総額135万円の助成を行いました。28年度からは、出産準備のため宿泊が必要となった場合の宿泊費用の一部を支援します。町内の保育園舎の状況は、古い順に五日市保育園が築45年、小屋瀬保育園が築42年、江刈保育園が築38年、葛巻保育園が築32年の状況です。

議員 粗大ごみ収集の実施の考えは。安心安全な保育環境や、より良い就学前教育を行う環境整備について、28年度から総合的な検討を進めて方針を定めます。現状を踏まえて効率的収集を検討

議員 ごみ収集細分化の実績と粗大ごみを収集する考えはありますか。現状を踏まえて効率的収集を検討

～ 今ここが聞きたい ～

3月7日に、4議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

問 国体に向けた対応は

答 葛巻らしいおもてなしの心で

議員 10月1日からの希望郷いわて国体が迫っている中、本町の対応策が見えませんか。具体的な取り組み内容を伺います。町長 本町で開催される国体は、正式種目の軟式野球競技とデモンストレーションスポーツのネオホッケーで、全国から多くの方々の来町が予想されます。この機会に東日本大震災津波での支援と協力に対し感謝の気持ちや葛巻らしいおもてなしの心でお迎えできるように、町民が体となった取り組みを進めます。国体軟式野球では、3日間で480人ほどの競技役員や町民ボランティアの運営要員が必要です。今後さらに町民、体協関係者、自治会や企業などに広く呼びかけて人員を確保します。児童や生徒には、高レベルのスポーツ技術を学

ぶ国体観戦や参加チームへの応援などを通じ、「復興支援への感謝」の気持ちを伝えたいです。競技会場内に、商工会や第三セクターなどと連携し、乳製品やワインなど町の特産品を販売するコーナーを開設します。国体終了後のスポーツ振興は、スポーツ大会の開催や合宿誘致など、地域経済への波及効果が期待できる「スポーツツーリズム」の推進を図り、スポーツ団体や町民が主体となったスポーツ推進の「協創」を進めます。

議員 職員の勤務内容健康管理状況は。町職員（一般行政職員）の勤務内容や健康管理はどのようになっていきますか。答 業務の調整を行い働きやすい職場に

町長 現在、一般行政職員数は81人で、10年前と比較して27人、25%の減少です。臨時事務職員数は39人で、10年前と比較して70%の増加です。一般行政職員の人員費は、10年前との比較で年間2億2千万円の減、臨時事務職員は年間1500万円の増です。町では、当時、合併をしないで持続できる町を目指し、行政改革などの取り組みから、このような結果となっています。一方で、住民ニーズの高度化や多様化から業務量が増加しており、電算化や業務委託を進めて効率化に取り組んでいます。26年度で1カ月の最高超過勤務は、119時間で40万円の手当支給、年間では、631時間で193万円の手当支給です。超過勤務の多い課では、室や係を超えて業務調整を行い、超過勤務の抑制に努めています。長期の病気休暇は、現在2人ですが、職員健康診断の受診率は90%と高水準です。今後も計画的な年次休暇の取得や職場環境の点検などを行い、働きやすい職場づくりに努めます。



柴田 勇雄 議員



2015わかやま国体軟式野球競技の応援観戦で大会を盛り上げるスポーツ少年団

0万円の増です。町では、当時、合併をしないで持続できる町を目指し、行政改革などの取り組みから、このような結果となっています。一方で、住民ニーズの高度化や多様化から業務量が増加しており、電算化や業務委託を進めて効率化に取り組んでいます。26年度で1カ月の最高超過勤務は、119時間で40万円の手当支給、年間では、631時間で193万円の手当支給です。超過勤務の多い課では、室や係を超えて業務調整を行い、超過勤務の抑制に努めています。長期の病気休暇は、現在2人ですが、職員健康診断の受診率は90%と高水準です。今後も計画的な年次休暇の取得や職場環境の点検などを行い、働きやすい職場づくりに努めます。



はたふく ひろし 畑福 弘 議員

問 TPPによる影響対策は

答 事業で経営力の向上を

議員 環太平洋経済連携(TPP)による、町への影響とその対策は。国へTPP反対の働きかけの考えは。

町長 TPPによる町への具体的な影響は、国が27年12月に公表した「TPP協定の経済効果分析」を基に県が試算したデータから、牛肉で14.5億円から29.1億円、牛乳や乳製品が2.4億円から4.2億円、それぞれ減少が見込まれます。影響の要因に、安価な輸入牛肉の増大による国内産牛肉の価格下落や、北海道産の加工用原料乳が国内の飲用向けに供給されることで、生乳価格の下落が懸念されます。

本町でも何らかの影響を受けるものと思われるのですが、国の分析データの条件の正確さの判断が困難なことなど、具体的な試算が行えない状況です。

議員 TPPの影響対策は、TPP関連対策事業を有効に活用して、畜産農家などの経営力や生産力の向上を図るとともに、新葛巻型酪農構想の実現を見据え、畜産クラスター協議会の設立と効率的で合理的な経営体の育成支援などに取り組みます。

TPP反対を働きかけるためには、町内の畜産、林業に及ぼす影響がどの程度になるかを明らかにする必要がありますが、国が連携協定発効に向けた国内手続きを進めている段階にある状況などを考慮した場合、その動向を注視する必要があると考えます。

今後、本町の畜産や林業に相当の悪影響が出る場合によっては、国や県に対する働きかけなどを検討する考えです。



補修工事を行った青刈橋(一戸町境)

問 一戸・葛巻線整備の考えは

答 待避所を設置し安全確保を図る

議員 主要地方道一戸・葛巻線の整備の考えは。除雪車による除雪後の道路脇に堆積した雪を処理する考えは。

町境に位置する青刈橋の補修工事が行われました。県では、地形的な制約などから、当面は待避所を数カ所設置し、通行車両の安全確保を図る考えのようです。

道路の除雪作業は、各種産業の流通経路の確保のほか、災害や救急車両の通行確保に備えることを重視しています。

高齢者など除雪作業が困難な方に対しては、助け合いの精神や協働のまちづくりの理念を理解いただき、協力をお願いしていく考えです。



やまざき くひろ 山崎 邦廣 議員

問 文化財保護の取り組みは

答 映像保存や郷土学習を支援

議員 伝承者確保が困難な無形民俗文化財の保存振興策と、有形文化財が評価前に消滅することを防止する保護措置を伺います。

町長 現在、町内の郷土芸能団体数は、葛巻町郷土芸能団体連絡協議会に加盟する13団体のうち、民謡団体2団体を除く11団体、182人です。

町では、25年2月に葛巻町郷土芸能団体連絡協議会を設立し、発表会の定期開催による練習、発表、交流の場を創出することで、活動の活性化と伝承者の増加に努めています。

会員の高齢化による伝承の途絶えを防ぐため映像で記録保存することで、後世に受け継ぐことができるよう機器類の整備を行っています。

郷土芸能は、町内小中学校や高校などで取り入れられており、地域とのつながりや郷土芸能の大切さが育成されると考えます。今後も、各学校での郷土学習の取り組みを支援し、将来にわたり、地域での伝承が続くように努めます。

有形文化財の保護措置は、文化財保護委員会を中心に、文化財の確認や新たな文化財の情報収集する「文化財パトロール」を定期的に実施し、保護に努めています。

文化資料、民俗資料は、町の歴史風土や当時の生活や産業の様子を物語る貴重な財産であり、後世に受け継いでいかなければならない文化遺産と認識しています。文化財保護委員と連携しながら、文化財の調査、指定、保護を進め、町民への啓蒙活動や情報提供の呼びかけなどで、文化財の保護に努めます。

問 葛巻高校の存続取り組み内容は

答 先進事例を分析し存続の方策を検討

議員 葛巻高校の存続発展に向け、今後の取り組みを伺います。

1学級化は、到底、受け入れることができない内容です。

町では、30年度以降も1学年2学級を維持するために、特色ある取り組みを進める先進地の情報収集や分析を行い、葛巻高校の存続に向けた具体策を検討し、29年度には県教育委員会に対して、改めて葛巻高校の1学年2学級の維持、存続に向けた要望活動を行う考えです。



葛巻神楽保存会による「権現舞」の披露(郷土芸能発表会)